

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年8月4日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合) [No.138]

国家公安委員長は「JR総連への革マル浸透は事実である」と国会答弁！

8月3日の衆議院予算委員会で、自民党平沢勝栄議員（東京17区）が「JR総連・東労組内には、影響力を行使し得る立場に革マル派が相当浸透している」とする鳩山内閣が閣議決定した政府答弁書と、先の参院選で民主党がJR総連組織内候補（田城郁氏）を公認したことに係る認識などについて質問し、厳しく追及がなされた。中井治国家公安委員長は、答弁書の内容は「事実である」と明言した。以下に関係部分を紹介する。

平沢議員：このパネルは、今年の5月11日、鳩山内閣の時に、佐藤勉衆議院議員の質問主意書に対する政府答弁書である。...(中略)...「革マル派は、将来の共産主義革命に備えるため、その組織拡大に重点を置き、周囲に警戒心を抱かせないよう党派性を隠して基幹産業の労働組合等各界各層への浸透を図っており、全日本鉄道労働組合総連合会(以下「JR総連」という。)及び東日本旅客鉄道労働組合内には、影響力を行使し得る立場に革マル派活動家が相当浸透していると認識している」。要するに、JR総連とJR東労組の中に、革マル派が相当浸透している、幹部のクラスに相当浸透しているということを皆さんが認めている。その、皆さんが認めているこの組織から、参議院の候補者を公認で出した。ということは、革マルと皆さん方、関係ができてくると、深い関係ができてくると、そういうことにならないか。このけじめはどうなるのか。

中井国家公安委員長：国家公安委員長として、この答弁書を作った責任者の一人としてお答えを申し上げます。このとおり、私どもはJR総連・JR東労組と革マル派の関係については、革マル派が相当浸透していると認識しているのは事実である。こういう答弁を作成しており、私もいろいろ悩んだわけである。質問者は前の国家公安委員長でもある。従って、私はこのまま閣議にお出しをするということの決心を固め、党にも伝えたわけである。こういう方向であると。そして、閣議の席では、申し上げていいかどうか迷うが、こういう答弁書でいいのかどうか、事実かどうかというご質問もあったが、私はそのとおりであろうと、このように答えたところである。

平沢議員：私は、この組織の組織内候補者、今度ね、ここに、JR総連とJR東労組の政策調査部長という幹部が民主党の公認で全国比例から出て当選している。だから、革マルとの関係ができるんじゃないですか、総理。...(中略)...これおかしくないですか、だって、そういうね、革マルが幹部に相当浸透しているという組織の代表、組織内候補を、公認して民主党は出している、それはおかしくありませんかと聞いている。総理、答えてもらいたい。

菅直人首相：いろいろな労働団体、さらにはいろいろな各種の団体と、そういう所から候補者が民主党から出たいということで当時の執行部として判断をされて公認をしたと、そういうふうに理解している。

平沢議員：...(前略)...一言で言えば、民主党と革マルはどういう関係なのか。今、大相撲がなぜ問題になっているのか。暴力団という、いわゆる反社会的勢力といろんな関係があるから大相撲は問題になっている。民主党と革マルの関係はどうなっているのか。この辺は党の代表としてしっかりしてもらいたい。

民主党は国会審議を契機に真相解明と問題解決を！

民主党は、参院選で田城氏を公認したために大問題を抱えてしまった。今回の国会審議を契機に、民主党には、革マル派との関係を断つのはもちろん、わが国の治安問題であるJR総連・東労組への革マル派の浸透の真相を徹底解明し、解決に取り組むことを強く求めたい。《審議内容はHP「衆議院TV」(<http://www.shugiintv.go.jp/jp/index.php>)を参照

「検証・JR革マル浸透と組織私物化の実態！」はJR連合ホームページに掲載中！ <http://homepage1.nifty.com/JR-RENGO>